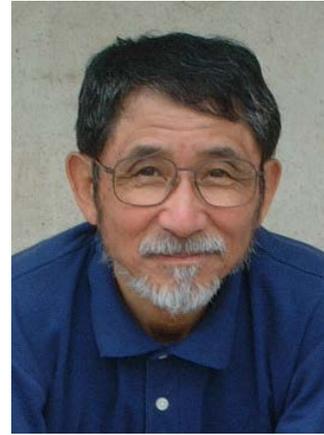


改訂 平成 27 (2015) 年 6 月 27 日

東京農工大学陸上競技部
OB/OG 会 ADLER 会員
現役部員各位

東京農工大学陸上競技部の田川賞および各賞趣意

東京農工大学名誉教授 田川利賢（たがわ としかた）先生は昭和 57（1982）年に本学陸上競技部顧問となられ、以来 30 年余りに渡り陸上部へのご指導を頂きました。誠に残念ではありますが先生は平成 25（2013）年 12 月に人生を全うされ逝去されました。



田川利賢先生

田川先生は器械体操で世界レベルの素晴らしい実績をお持ちにも関わらず、陸上部に倦むことなく愛情を注いで頂きました。先生のお蔭で部員は陸上部を絆として成長することができました。陸上部卒業生男子・女子(OB/OG)会の組織化にもご指導を頂きました。特に OB/OG 会に対して ADLER と命名頂きました。以来、OB/OG は ADLER の旗の基に参集することができております。

そこで、田川先生の生前の陸上部への深いご厚情に感謝し、その愛情と情熱を受け継ぐことを目的に「田川賞」を平成 26(2014)年度 OBG 会での承認を経て創設いたしました。田川賞は女性部員に対して当該年度において競技成果に優れた者、または陸上競技部に貢献の大きい者へ、その栄誉・努力を称え、さらなる活躍を祈念することを目的として OB/OG 会が授与をするものです。

【OBG 会名 “ADLER”について】ドイツ語 der Adler (鷲)に由来し、平成 9（1997）年に部長 田川利賢先生が命名された。OBG 会の会則制定にあたり会の呼称の選定を OB/OG の総意で先生にお願いした。先生は出身の東京教育大学では器械体操部に所属され、1964 年東京 Olympic 前後の日本を代表する体操選手でした。先生は当時より欧州とくにドイツ語圏への遠征が多く、先方に多くの知人を得て終生親交を深め、ドイツ語にも精通しておられました。それらの経験から Adler と命名されました。鷲がハプスブルグ家等の欧州の王家の紋章に強者の象徴として用いられ、また、現地の人々が勝利の歓喜を表す際に発する言葉でもあることから、本会会員が当会に誇りを持ち各界で大いに活躍され、Adler の旗の下に仕合わせに未永く参集することを祈念して命名されたものである。

【各賞趣意】

「今村杯」昭和 54(1979)年に田川先生の前部長の今村浩明先生の発案ならびに寄贈により創設。現役から OB/OG に授与される。部の活動、または卒業後の活動につき後輩の模範となる OB/OG を表彰する。

「小杉杯」昭和 48(1973)年に創設。OB/OG から現役へ授与。短距離・跳躍競技で活躍されつつも、残念ながら急逝された小杉 均先輩を記念して、ご両親からの希望で創設された。競技活動成績、部活動に対し功績のあった現役生を表彰する。

東京農工大学陸上競技部 OB/OG 会 ADLER 有志代表
小川宏幸(第 2 代 OB/OG 会長)、川田 晋 (同 4 代)、加藤之貴 (同 3 代) (文責)